

## 【第2号議案関係】

### 平成25年度事業計画

#### (基本的な進め方)

日本一の茶産地静岡県が、茶の文化や効能研究など多岐にわたる分野においても、日本及び世界を牽引する「茶の都しずおか」となるよう、世界に向けたお茶の需要拡大や、茶のある豊かな生活の実現に向け、緑茶の魅力を世界に発信する。

本年度は、世界お茶まつり2013が開催されるため、本協会が担当するプログラムを有意義かつ円滑に実施する。

#### <具体的な事業>

##### 1 茶文化の提案及び普及(公益目的事業1)

###### ア 茶の都しずおか創造セミナー等の開催

「茶の都しずおか」の創造を目指し、世界お茶まつり春の祭典シンポジウムや、市町・賛助会員が中心となる催し物等を、協会が連携し開催することで、お茶に関する文化、歴史、機能性研究成果など様々な情報発信を行う。

内容	時期	備考
茶の都しずおか創造セミナー	平成25年 5月	世界お茶まつり 春の祭典シンポジウム
茶市民セミナー (機能性・効用セミナーなど)	通年	県出先機関、市町と連携し、県内各地(東部、中部等)で開催
地域茶文化創造支援事業	通年	賛助会員が中心となり、地域の新たな茶文化を創造するための催し物等を当協会と連携して開催するに当たり、活動費の一部を助成する。

###### イ 緑茶に関する情報誌(「緑茶通信」)の発行

お茶に関する幅広い情報を発信するため、情報誌「緑茶通信」を発行する。

発行時期	主要テーマ	発行部数
平成25年9月	33号 醗酵茶の不思議(予定)	1,200部
平成26年3月	34号 世界緑茶会議2013	1,200部

###### ウ 静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおかO-CHAプラザ」における企画・運營業務を静岡県より受託。

###### (ア)しずおかO-CHAプラザの運営

日替わりで県内主要産地のお茶を使用し、来場者に日本茶インストラクターがおいしいお茶の淹れ方の指導を実施。

お茶に関する各種展示、書籍等資料の配架を行う。

<しずおか茶体験コーナー概要>

開場時間	月曜～金曜 午前9時30分～午後4時30分
場所・規模	水の森ビル3階 65㎡ 15席

<展示内容>

お茶の新商品 世界緑茶コンテスト入賞茶 世界のお茶、世界の茶道具など

(イ) 季節に応じたミニ講座の開催

一般県民に対し、茶王国静岡ならではのテーマによる県内主要産地のお茶を使ってのミニ講座を実施し、おしゃれで楽しいお茶の楽しみ方の体験指導を行う。

<ミニ講座のテーマ(予定)>

- 新茶を味わう(5月上～6月中)
- 冷茶を楽しむ(6月下～7月下)
- 夏休み親子で楽しむお茶講座(8月上～下)
- お茶の香りを楽しむ(8月下～9月中)
- 品種茶の飲み比べ(9月下～11月上)
- 熟成茶と玉露を味わう(11月中～12月下)
- 入賞茶を楽しむ(1月上～2月上)
- お茶とスイーツでティータイム(2月中～3月下)

エ 富士山静岡空港呈茶コーナーの運営

富士山静岡空港公的利活用スペースの「呈茶コーナー」の企画運営を静岡県から受託。県内各茶産地と協力し、空港利用者を静岡のお茶でもてなす。

<富士山静岡空港「呈茶コーナー」の概要>

場所	富士山静岡空港ターミナルビル 2階出発ロビー 公的利活用スペース内
規模	カウンター席 7席
サービス内容	来場者への静岡県産の茶の呈茶 呈茶する茶や県内茶産地の説明 茶に関する質疑に対する応答
開場時間	毎日 午前9時30分から午後5時30分

2 世界の茶に関する情報の集積及び発信(公益目的事業2)

ア 日本茶の輸出促進

(ア) 国際的な見本市への参加

国際的な食品見本市やイベント等へ参加し、日本茶を楽しむ文化を紹介するとともに、安全性のアピール、緑茶の機能性のPRを行うとともに、輸出拡大に関心の高い茶業者の出展を支援する。

開催地	アジア(香港)	国内
開催日時	25年夏	未定
名称・開催場所	HongKong Internatinal Tea Fair	未定

(イ)セミナー等の開催

輸出に関する情報提供や情報交換を行う。

開催日時	25年夏
内容	日本茶輸出現地調査、香港 (協力:ジェトロ、SIBAなど)

(ウ)日本茶に絞った外国語基礎講座の実施

今年度は、アメリカを含め英語圏において、日本茶の楽しみ方を英語でPRするための、日本茶に絞った英語基礎講座を実施する。

内容	時期	備考
日本茶の種類と特色 日本茶の淹れ方 主な成分と効能 など	全6回	平成24年度 英語 平成25年度 英語

イ 世界への情報の発信と集積

(ア)世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な規格や基準の制定が進められており、輸出促進のためには、我が国としてもこれらの協議に積極的に参画していく必要がある。このため、世界緑茶協会が国内の意見調整と国際団体との調整を行う「国内態勢協議会」の窓口機関となるよう、体制整備を進める。

茶に関する国際会議への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO(国際標準化機構)での茶の規格・定義等の協議へ参画及び国内各団体との調整。</li> <li>・ISO の茶に関する国際会議を今後本県で開催するための準備、調整。</li> <li>・ITC(International Tea committee)の会議出席による生産、貿易に関する情報の収集、国際的課題の調整。</li> <li>・FAO・IGG(国連世界食糧農業機関政府間会議)における輸出入の規制などに関する情報収集。</li> </ul>
各国の茶関連団体との交流、情報交換	全米茶業協会、世界茶連合会、中国茶葉流通協会、中国国際茶文化研究会、韓国国際茶文化交流協会、台湾茶協会などとの交流により、情報収集と発信を行う。

(イ) O-CHA ネット等の活用

茶に関する情報の集積と発信を行う。

内 容	発信手段
・世界的にお茶に関するニュースや生産・消費などの状況 ・国際的な見本市や旬のイベントに関する情報 ・お茶の機能・効能に関する研究成果情報など	世界緑茶協会ホームページ「O-CHA ネット」 (アクセス数 約 3,100 件/日) 賛助会員向けメールマガジン (1 回/月程度)

ウ 世界お茶まつり2013におけるお茶の新たな可能性の発掘とPR

(ア) 世界の茶道具展(春の祭典)

世界お茶まつり2013春の祭典期間中、富士山静岡空港公的利活用スペースにおいて、世界の茶道具及び、世界各地で親しまれる茶にまつわる場面を展示説明する。

(イ) 茶の都しずおか創造セミナー(春の祭典、再掲)

「茶の都しずおか」の創造を目指し、お茶に関する文化、歴史、機能性研究報告など様々な情報発信を行う。

内 容	時 期	備 考
茶の都しずおか創造セミナー	平成 25 年 5 月	世界お茶まつり 春の祭典シンポジウム

(ウ) 世界緑茶コンテストの開催(秋の祭典)

新しいコンセプトを持ち、創造性に満ちた魅力あるお茶の商品を提案いただく。表彰式及び展示は秋の祭典にて開催する。

目標出品点数	100 点(うち海外 30 点)
募 集 期 間	平成25年 4 月～7 月
審 査 会	平成25年 8 月 島田市お茶の郷博物館 (審査員) 茶研究者、流通業者、マーケティング研究者、デザイナー
入賞茶の展示,PR	・表彰式:平成 25 年 11 月(世界お茶まつり会場にて) ・各種イベントや食品見本市等にて展示、PRを行う ・ホームページ「O-CHA ネット」に掲載する

(エ) 世界緑茶会議開催(秋の祭典)

秋の祭典として、世界の茶業者が一堂に会し、お茶の文化と緑茶の世界的な普及のために必要な課題や方策について議論する「世界緑茶会議」を開催する。

また、各国のお茶の情報交換や議論を深め、関係国の国際的なネットワークの確立を目指す。

開催期間	平成 25 年 11 月 9 日～10 日
開催場所	グランシップ 11 階会議ホール「風」
参加者	アメリカ、イギリス、インド、中国、日本の茶業関係者
内容	前回まで会議の発表内容を踏まえ、各発表者が各国各地域のトレンドや特徴のあるテーマ発表を行い、緑茶の新たな需要創造や緑茶を愉しむ生活空間の拡大について議論する。

#### エ O-CHAパイオニア顕彰

茶に係わる優れた学術研究や緑茶の振興及び発展に寄与した産業技術、緑茶生活文化の提案や消費拡大等の優れた成果を顕彰する。

(ア)表彰の区分

部門	内容
学術研究大賞	茶に係る優れた学術研究成果
新技術・新商品開発大賞	茶の生産や消費に関する革新的技術や新商品開発
文化・芸術大賞	茶に関する文化及び美術等の芸術に関する活動
CHALLENGE 賞	今後の成果が期待される独創的な取り組み
O-CHA特別賞	その他の優れた取り組み

(イ)審査会:平成25年9月

(ウ)表彰式:平成25年11月(お茶まつり会場にて)

#### 3 ホームページバナー広告(収益事業)

O-CHANET は、1か月平均 93,300 件のアクセスがあるお茶の総合情報サイトであり、お茶関連業者(当協会会員)へのバナー広告掲載を勧めることにより、当協会HPを中心にしたネットワークの構築をすすめる。